

(別紙)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1- (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1- (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	④・b・c
良い点／工夫されている点： ・岐阜市公立保育所の保育理念を基に「生涯にわたる生きる力の育成」を保育所目標としており、全体的な計画の中で基本方針を明文化している。入所式や各種行事で文書を配布して話をしたり、保護者や地域の方、来所者にも見やすく、わかりやすいように玄関や廊下に掲示し、周知を図っている。職員には、年度当初に全体的な計画を配布し、基本方針に沿った保育が実施されているか確認している。		
改善できる点／改善方法：		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2- (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2- (1) -① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	④・b・c
良い点／工夫されている点： ・保育事業の動向については、市関係者からの連絡・報告や「保育士会だより」「せんほきょう」の各種専門誌、研修などによって情報を収集し、把握に努めている。 ・西郷公民館運営委員会を通して地域の状況、保護者の送迎時、懇談会、アンケートなど保護者から保育ニーズを適切に把握し、職員会議などで話し合う機会を設けて職員が周知し、次の計画に反映させるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		
③	I-2- (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めていく。	④・b・c
良い点／工夫されている点： ・保育内容については、PDCAサイクルにより、よりよい保育、保育の質の向上に努めている。		

<ul style="list-style-type: none"> 職員体制については、ローテーション勤務を実施し、円滑な運営に努めている。 水道光熱費の適切な使用、消耗品の計画的な購入などコスト意識を職員一人一人が持ち、効率的な予算執行に努めている。また、在庫が分かるように倉庫を整理整頓し、利用できるものが無駄にならないように工夫して使い、経費の削減を図っている。畠の持ち主の方から各種野菜の育て方を習い収穫したり、ボランティアによるサッカー教室などを行い、予算の効率化を図っている。
改善できる点／改善方法：

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されて いる。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・「養護・教育が一体となった充実した保育内容」「保育の質の向上」「安全・安心保育」「食育の推進」「地域との連携」などを重点に計画が策定されている。また、保育所保育指針に則り、公立保育所保育研究会で検討された研究内容を基にPDCAサイクルを繰り返し、保育の質の向上を目指している。 ・予算に関しては子ども保育課で策定されているが、施設改修などは協議しながら安心・安全な保育所となるように計画的に進めている。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されて いる。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・中・長期計画を踏まえて、単年度計画を策定し、年度初めに「全体的な計画」「本年度の方針」「行事予定」などを職員に配布し、周知している。各行事については、担当を決め、ねらいや内容を職員会議等で検討、確認を行い、共通理解のもと進めている。また、保育の質の向上を目指した個々の研修計画を立て、実践し保育に生かしている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組 織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・昨年度の反省を基にした計画を職員で話し合って策定している。計画は文書配布や回覧をすると		

ともに職員会議、水曜会などで周知している。実施後は確認、見直しをして次年度につなげている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・年度の初めには年間行事計画を配布。毎月保育所だよりやクラスだよりを配信したり、ドキュメンテーションを掲示して周知、理解を促している。また、毎日の活動や行事など子どもの様子を写真を使って情報公開し、よりわかりやすく伝えるように努力している。		
改善できる点／改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・年間計画、月間計画、週案を基に、PDCAのサイクルを継続して実施することで保育の振り返りを行い、自己評価、保育の質の向上につなげている。また、年間の研修計画を作成し、園内・園外公開保育を実施したり、保育課主催の学習会、保育協会主催の研修、その他保育研究協議会主催の様々な研修を積極的に受講できるようにしている。受講後はレポートの提出を行い、回覧、職員会議での報告を通して他職員へ情報共有している。 ・第三者評価の定期受審を通して評価を行い、課題を明確にし、改善するようにしている。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ・各種反省、課題について職員会議や水曜会で共有し、話し合いを通じて改善につなげている。 ・自己評価・第三者評価基準ガイドライン等について職員会議や自己評価研修で検討し、課題を明確にし、改善策を考え、改善実施されるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・所長の役割や責任を職務分担表において明文化し、各種会議、面談にて方針や責任を明らかにしている。また、有事における施設長としての責任については、「防災マニュアル」「安全管理マニュアル」に記載し、様々な研修において安全管理の知識を習得するようにしている。 ・保育時間外や不在時においてもマニュアルで明文化している。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・職場内研修として全職員対象に人権、公務員倫理、接遇、個人情報等研修を実施し、理解を深め、周知徹底を行っている。また、関連法令やマニュアルなどをファイリングして事務室に置き、いつでも閲覧できるようにしている。 ・法令関係の研修にも積極的に参加し、レポート回覧、職員会議での報告で周知している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を發揮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・岐阜市公立保育所保育研究会の主題でもある「遊び込み、遊びきる子どもをめざして」の取り組みの中で、園外・園内公開保育の実施、家庭や地域との連携による食育の推進を課題とし、日頃の保育の様子を見守るとともに、課題、問題の解決について職員会議や各会議において意見を出し合い、助言、指導を行っている。また、職員同士が語り合い、アイデアを出し合えるようにして保育の見直しを図り、質の向上に努めている。 ・また、自己評価研修を行い、保育の基本について常に意識を持ち、よりよい保育に努めている。個々の研修計画を作成し、積極的に参加できるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		

13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 職務分担表を作成し、一人一人の職員が分かりやすく、意欲的に業務遂行できるようにしている。面談や会議の際に保育の状況や職員の意見を聞き、必要に応じて見直し、改善を行い、働きやすい環境づくりに努めている。職員が意見を出しやすい環境、雰囲気作りを心掛けている。 ICT「コドモン」アプリを活用して、出席の把握やお便り等の配信、写真販売など業務の効率化の取り組みを進めている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事については、市の人事規定に基づいて定められている。各年齢別児童数、障がい児加配、標準時間保育児童数の状況に応じて職員配置をしている。 全員が保育士資格を持ち、保育の専門家として正規、非正規や経験年数、在籍年数などに関わらず、職員同士がコミュニケーションを図り、語り合いながら保育に取り組み、責任をもって仕事ができるようにしている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜市の服務規程によって期待する職員像については明確にし、クレドノートを活用して隨時研修を行っている。また、人事考課マニュアルに基づき、人事考課を実施している。 業務の目標、チャレンジ目標などを設定し、一年を通して達成できるようにしており、年3回の所長との面談を行い、状況の把握、今後の取り組みなどについて話し合い、助言や指導を行っている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ

良い点／工夫されている点：

- ・職員一人一人の勤務状況、年休取得、超過勤務をPCで一括管理し、出退勤管理は毎日の出退勤表によって把握している。積極的な年休取得ができるようにサポート体制を整え、職員が休み易い雰囲気を作っている。
- ・日頃からのコミュニケーションを大切にし、メンタルヘルス研修への参加、ハラスマントの研修などを実施し、職員の心身の健康が保たれるように配慮している。個人的な相談は健康相談室での相談ができることも周知している。

改善できる点／改善方法：

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	------------------------------------	-------

良い点／工夫されている点：

- ・正規職員は、人事考課マニュアルに沿った目標管理、人事考課を行っており、年度初めに目標を設定し、一年を通して取り組み、年3回の所長との面談で進捗状況を把握し、話し合いを行っている。また、職員が記入する「自己行動記録書」を活用し、適切な人事考課を行い、意欲が高まるようしている。
- ・会計年度職員には必要に応じて面談の機会を設けて、意欲的に活動できるように話し合うようしている。

改善できる点／改善方法：

18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、 教育・研修が実施されている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	--	-------

良い点／工夫されている点：

- ・岐阜市の「基本方針」の運営管理の中で職員の資質向上、職員研修の基本姿勢を明示している。
- ・子ども保育課の学習会、市保育協会の研修、岐阜県の各分野ごとの研修、ステップアップ研修など様々な研修に積極的に参加できるように計画を作成している。
- ・また、公開保育を通して保育の課題を見つめる機会を設けたり、研修の報告、レポート回覧によって職員全員の資質向上につながるように努めている。

改善できる点／改善方法：

19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	--------------------------------------	-------

良い点／工夫されている点：

- ・職位、経験年数、担当年齢などを考慮して全職員の個別の研修計画を作成し、積極的に研修に参加できるようにしている。
- ・一人ひとりの階層別研修、職種別研修、テーマ別研修の機会を確保し、レポート提出とともに職員会議などで報告を実施し、全職員で共有できるようにしている。また、保育の実践の場で活かせることは何かを考え、保育実践に反映させている。

改善できる点／改善方法：

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関する専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生受け入れマニュアルを基に、養成校、子ども保育課と連携を取り、受け入れを行っている。 ・看護実習生、保育実習生とも積極的に受け入れを行っており、実習前のオリエンテーションを行い、保育所の特性について理解したうえで実習に臨んでもらえるようにしている。また、受け入れ職員や保護者にも保育所便りなどで知らせ、スムーズに受け入れが行えるようにしている。 ・実習中も養成校の担当教諭との話し合いなどを行い、実習内容について連携している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市のホームページで保育所の概要や保育方針などの情報を公開している。また、地域の公民館にチラシを置いてもらっている。 ・玄関に苦情解決制度の案内、解決方法についてわかりやすく掲示し、ご意見をいただけるようにしてある。 ・第三者評価の受審証、苦情の受付体制を玄関前に明示し、保護者・来訪者に分かりやすく掲示している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所における経営・運営等は毎年岐阜市の指導監査課と子ども保育課による監査により確認されている。 ・所長、副所長、保育士で事務分担しており、職務分掌と権限、責任を職員等に周知している。毎年各項目について所長、副所長を中心に確認している。 ・保育士は現金取扱員として登録されており、出納簿で管理しており、その都度子ども保育課の係員に確認を受けている。現金の取り扱いに関しても透明性は高い。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の中で地域との連携について明文化している。 ・畠の持ち主の方の指導による野菜栽培、西郷地域の市民運動会への参加、公民館主事・コーラスサークルの方々とクリスマス会を一緒に、交流を深めている。 ・西郷公民館の未就園児サークルとの交流を実施し、保育所の情報を伝えている。 ・公民館やエール岐阜などの社会資源の配布物を玄関に置き、情報提供している。 		
改善できる点／改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れのマニュアルは明文化されている。 ・受け入れの際には職員間で共通理解をし、周知するようにしている。また、事前オリエンテーションを行い、守らなくてはならない事項や心構え等を伝えるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な関係機関（子ども・若者総合支援センター、子ども相談センター、小学校、公民館、幼児支援教室、児童発達支援事業所、嘱託医、薬剤師）と必要に応じて情報交換を行い、連携を取っている。 ・保護者にも必要に応じて情報提供を行っている。 ・要保護児童については、毎月の報告を実施し、児童虐待について迅速な対応ができるように体制を取っている。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・「元気子育てサロン事業」による園庭開放、絵本貸し出し、子育て相談、一時預かり、親子体験保育を実施している。 ・西郷公民館未就園児子育てサークルに担当者が参加して交流の機会をもち、地域子育て支援の一役を担っている。また、定期的に地域の連携会議に参加し、情報交換を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・「元気子育てサロン事業」を実施する中で施設見学される方や園庭開放に遊びにみえた保護者に聞いたり、子育てサークル、民生児童委員との交流で地域保育ニーズを把握し、支援事業に活かしている。 ・災害時には、公務員として地域の為に活動できるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： ・保育所の理念や基本方針を明示し、玄関や分かりやすい場所に掲示していつでも見ることができるようにしている。「保育士倫理要綱」は事務室や休憩室など保育士が常に目にする場所に掲示し、子どもの人権、虐待防止について研修を行い、全職員が共通理解のもと子ども一人一人を大切に保育できるようにしている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ

	育提供が行われている。	
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども、保護者のプライバシー保護についてのマニュアルを整備し、職場研修を実施して全職員が把握するようにしている。また、写真などの個人情報について入所時に「個人情報同意書」を提出してもらい、保護者の意向に沿った対応を行っている。 トイレや着替えの時は衝立を使用したり、プライベートゾーンについて「なかよし会」で子どもたちにも話をしたりしてプライバシー保護に努めるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 保育所の情報は、ホームページ、「ぶりあ」などに掲載されており、公民館にもチラシを置いてもらい、いつでも見ることができるようになっている。 保育所見学は隨時受け付けており、希望の日時をすり合わせ、施設見学や質疑応答を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 保育所見学、入所希望者には入所案内や保育所案内をお渡しし、丁寧に説明している。入所受付、新入所児健診、入所式、各行事等の機会にも説明を行い、理解を得られるようにしている。 保育の利用時間や就労状況等変更がある場合は個別に適切な説明を行い、スムーズに変更ができるようにしている。また、進級に伴って保育内容や保育料、持ち物などの変更については前年度に丁寧な説明を実施している。 		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 市内の保育所（保育園）に転所の際は児童票、個別記録表、健康管理簿等を送付し、サービスの継続に努めている。 就学児については市統一の「保育所児童保育要録」を小学校に送付し、子どもの育ちが引き継がれるように配慮している。 卒園後も相談が可能であることを保護者に知らせ、サービスの継続に努めている。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。

33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	---	-------

良い点／工夫されている点：

- ・保護者アンケートを年3回(保育参観、オータムフェスティバル、生活発表会)や、個別懇談の日程調整など実施し、保護者の意向を把握し、意見を職員会で検討している。また、代表的な意見や回答などをまとめた便りを配信している。
- ・送迎時の声掛け、連絡帳、クラス懇談会や個別懇談等の機会を捉えて、保護者の意向把握に努め、改善すべきところは職員で話し合って改善する取り組みを行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	--------------------------------------	-------

良い点／工夫されている点：

- ・苦情解決制度の案内や意見箱は、目につきやすい玄関に掲示、設置している。
- ・保護者からの意見を受け付けた場合は、保護者対応マニュアルに沿って適切な対応を行い、解決に向け職員全員で話し合いを行い、再発防止に努めている。

改善できる点／改善方法：

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	--	-------

良い点／工夫されている点：

- ・苦情解決制度の案内や意見箱を目につきやすい玄関や廊下などに掲示、設置している。
- ・日頃から保護者の送迎時には積極的に声をかけ、担任をはじめとして所長、副所長にも相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
- ・相談時には落ち着いてゆっくりと話すことができる事務室など配慮した場所で行うことができるようしている。

改善できる点／改善方法：

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
----	---	-------

良い点／工夫されている点：

- ・保護者の意見に対しては、マニュアルに沿って、担任が対応するもの、所長、副所長が対応するもの等を判断して、迅速に対応している。内容について記録をし、職員間で対応を共有し、改善できるようにしている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスク マネジメント体制が構築されている。	Ⓐ・b・c
----	---	-------

良い点／工夫されている点：

- ・毎月施設、遊具の安全点検を行い、見直しを行っている。
- ・「安全管理マニュアル」「災害時対応マニュアル」を整備して、手順を明確にし、職員の役割分担についても把握できるようにしている。
- ・避難訓練や不審者対応訓練、救命講習や緊急時対応について研修を行っている。
- ・ヒヤリハット事例を毎月提出し、職員会議などで研修を行い、職員全員が危険個所の把握、改善、見直しを行っている。

改善できる点／改善方法：

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
----	--	-------

良い点／工夫されている点：

- ・「安全管理マニュアル」「感染症ガイドライン」などを参考にしている。担当の職員が研修をわかりやすく行い、職員に周知している。
- ・担当者が研修に参加したりして常に新しい知識を広めている。
- ・保護者への情報提供はプライバシーに配慮してその日のうちに担当者がクラスや玄関に張り出している。
- ・「学校等欠席者・感染症情報システム(サーバイランス)」に登録し、感染症の状況が把握できるようにしている。

改善できる点／改善方法：

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c
----	--	-------

良い点／工夫されている点：

- ・「防災マニュアル」「洪水時の避難確保計画」に基づき、職員体制を組んでいる。
- ・コドモンによる一斉配信や電話連絡など緊急時の連絡体制を整備している。また、緊急引き渡しカードを作成し、緊急時に備えている。災害時に備え、保育所内に子どもと職員の水、ビスケット、アルファ米の備蓄（3食×3日分）をしており、市防災課の職員が定期的に点検管理を行っている。
- ・消防署と連携した通報避難訓練を行っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 「保育所保育指針」を踏まえ、保育所独自の「全体的な計画」を作成し、それらを基盤に年齢別の年間、月間計画、週案、個別計画などの指導計画を策定して職員が十分に理解し、保育を実践することで一定の保育の質が保てるようにしている。 公立保育所保育研究会で作成した「アプローチカリキュラム」、「発達に沿った教材及び援助のポイント」年齢別「業務マニュアル」「手引書」を参照し、質の高い保育を目指している。また、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、事務室に常備している。 保育内容に関しては職員会議等で常に検討され、子どもの状況に合わせた保育が実践されるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 「全体的な計画」は毎年職員会議で評価、見直しを行っている。 年間計画は年一回、月案は月一回、週案、個別指導計画は隨時評価見直しを行っている。標準的な実施方法については職員会議、水曜会で話し合い職員の意見交換、保護者の意見の反映などができるようにしている。 様々なマニュアルについても隨時見直しを行い、検討するようにしている。検討した意見を所長会議などでさらに話し合い、公立保育所で共有できるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 入所時の家庭調査票などにより家庭状況、発育状況、既往歴、予防接種の状況などを把握して「児童票Ⅰ」を作成している。 「全体的な計画」に基づいた年間、月間、週案などの計画が作成されている。また、子ども一人一人の個別指導計画を作成し、個別懇談、送迎時の話し合いなどで保護者の意見を聞き取り、計画に反映させるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		

43	III-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は、担任、クラス担当職員と共に定期的に評価、反省を行っている。見直した事項はその都度計画に記載している。また、月に一度、提出し、所長、副所長が確認して、必要に応じて助言指導を行い、次の保育に活かせるようにしている。 ・基本となる各種計画は所長会、公立保育所保育研究会で見直し、改訂している。「全体的な計画」「食育年間計画」「保健安全計画」は年度末に見直しを行い、翌年度の計画に反映している。 		
改善できる点／改善方法：		
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	III-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は個別指導計画をクラス担当者全員で共通認識のもと、分担して具体的に記録されている。以上児は児童票Ⅱに子どもの状況を記録し、所長、副所長が点検し、共通理解ができるようにしている。 ・個別の配慮事項についてケース会議を行って情報共有をし、対応を検討している。 ・次年度への引継ぎは園独自の様式で個別に記載し、申し送りができるようになっている。 		
改善できる点／改善方法：		
45	III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理は紙媒体の場合、マニュアルに基づき、事務室のカギのかかるキャビネットに保管している。記録作成は保育所内で行うようにし、個人情報を園外に持ち出すことのないように徹底している。また、廃棄する場合はシュレッダーで処分するようにしている。また、パソコンはパスワードを設定したり、鍵のかかる場所に保管したりして取り扱いには十分注意している。 ・個人情報保護や守秘義務についての研修を毎年行い、全職員が共通理解できるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		

**評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)**

評価対象IV 保育内容**IV-1 保育課程の編成**

第三者評価結果	
IV-1-（1） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜市保育所全体的な計画」に基づいた保育の基本方針や保育目標を掲げ、子どもの発達過程や家庭の状況、地域の実態などを考慮して年案、月案、個別計画を立案し、評価反省を行い課題を次に繋げている。 理念や方針、目標は見やすい所に掲示し、意識して保育にあたるようにしている。 前年度の反省や地域、子どもの実態、アンケートや懇談で把握した保護者の意向を取り入れ編成している。 	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

第三者評価結果	
IV-2-（1） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検や一日3回の室温・湿度の測定を実施すると共に採光や通風に配慮し、安全で清潔、快適な環境を整えている。 薬剤師による環境衛生検査を実施し、適切な環境が保たれている。 砂場は、定期的に掘り起こして日光消毒を行い、清潔を保つようにしている。夜間はシートをかけ、猫等の進入防止対策をしている。 4月下旬から10月末にかけて、テントや遮光ネットを使用して日陰を作り熱中症対策を行い、快適に遊んだり、過ごしたりできるようにしている。 子どもの発達や興味関心に合わせた玩具や遊びの環境を子どもと一緒につくり、心地よく過ごせるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-（2） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の家庭環境や発達、生活リズムを把握し、安心して自分の気持ちを表せるよう子どもの状態に合わせた保育を行っている。 ケース会議を実施し、共通理解のもと一人一人に合わせた援助や対応がとれるようにしている。 職員間で連携を取り合い、子どもの気持ちに寄り添った保育を心掛けている。また、自分の思いを言葉で表現するのが難しい場合は、思いを汲み取ったり代弁したりしながら、話しやすい雰囲気をつくり、思いを伝えられるように関わっている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-（3） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施の「なかよし会」にて生活や遊びに必要な約束や、病気の予防、基本的生活習慣について子どもたちにわかりやすく伝えている。 ・基本的生活習慣の習得にあたっては、一人一人の発達や家庭環境を考慮して援助し、子ども自ら行ったり、「できた」という喜びや達成感を味わえるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や興味関心に合わせた遊びの環境を子どもと一緒につくり、子どもが主体的に遊べるようにしている。 ・友達や異年齢児との関わりの中で、ルールを守って遊ぶことや協同する気持ちが育まれるようにしている。 ・畑の持ち主の方に野菜の栽培方法を教えてもらう機会を設け、食育に関して子どもが関心を持ち、世話や収穫が楽しめるようにしている。 ・散歩などを通し、自然に触れる機会、地域の方と触れ合う機会を作っている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>令和8年度より、0.1歳児混合クラスを開設予定故今年度は 0歳児クラスなし</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「自分で」という思いを大切にしながら職員間で連携をとり、基本的生活習慣が身につくように一人一人に合わせた援助をしている。 ・発達や興味に合わせた玩具を用意し、自由に取り出して遊べるように配置するとともに、探索活動が十分にできるよう安全で広いスペースを作っている。 ・保育士が仲立ちとなり、友達や身の回りの人との関わりが持てるようにしている。異年齢の子どもとの関わりがあり、クラス単位だけでなく、園全体で子どもを見守る環境ができている。 ・生活や遊びの様子をドキュメンテーションや連絡帳、送迎時の会話を通して子どもの様子を伝え合い、子育ての喜びを共有できるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢ごとに発達に合わせた指導計画を立案し、評価反省をもとに保育内容を検討して次の保育計画作成へとつなげている。 ・職員会や水曜会で、子どもたちが主体的に遊べる環境を検討し、季節や子どもの関心に合わせて見直したり工夫したりして環境を整えている。 ・異年齢で交流する場をもち、小さい子や友達への思いやりや信頼感がもてるようにし、社会性を育んでいる。 ・送迎時の対話や毎日のドキュメンテーションを通して保育所での様子や成長が伝わるようにしている。 	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・エールぎふ、幼児支援教室、療育機関等の専門機関と連携を取り助言を受け保育にあたっている。 ・障がい担当保育士は研修や保育相談員の巡回指導、恵光学園での実習等に参加し知識を得ている。 ・保護者と送迎時や連絡帳を通して、様子を伝え合ったり、年に3回の面談を基に障がい児個別指導計画を作成し、一人一人の特性に合わせた援助が行えるようにしている。 ・ケース会議にて全職員が情報を共有し、統一した対応・援助が行えるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的でゆったりとした雰囲気の中で温かい関わりを心がけ、安心して過ごせるようにしている。 ・コーナー遊びの工夫や玩具の充実など、定期的に見直しながら、好きな遊びが楽しめるようにしている。 ・送迎児童チェック表を活用して連絡事項や子どもの様子について引継ぎをし、保護者への伝達が確実に行えるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチカリキュラムに基づいた保育を実施している。 ・小学校との交流を行い、小学校生活への見通しや期待がもてるようにしている。 ・個別懇談や送迎時に子どもの様子を伝え合い、保護者が小学校以降の子どもの生活に見通しを持ち安心して就学を迎えられるようにしている。 ・幼保小連携会議への参加や保育所児童保育要録の作成、就学後も授業参観などを通して連続した援助が行えるよう小学校との連携をとっている。 	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 健康管理

第三者評価結果	
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・既往歴や予防接種の状況を年度初めに把握し、児童票に記載している。必要に応じて全職員に周知している。 ・毎朝、受け入れ時に子どもの健康状態を把握し、異常のある時には保護者と連携をとって適切に対応している。 ・未満児クラスでは、午睡時観察記録表（3歳未満児）を活用して午睡時の体調変化に速やかに対応できるようにしている。 ・子どもの体調や怪我については、すぐに応急措置を行い、保護者への連絡をしてから、状況によっては病院を受診するなど対応できるようにしている。 ・感染症の発生や流行状況をその都度掲示し、保護者に情報提供をしている。また、嘱託医と病気の発生状況について情報を共有している。 	

改善できる点／改善方法：	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	④・b・c
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・健診【内科、歯科（各年2回）、耳鼻科、眼科、尿検査（各年1回）】を実施し、結果を児童票に記載し必要に応じて職員に周知している。保護者には健診結果を個別に伝え、治療が必要な場合は受診を促している。 ・健診結果から保健安全計画の見直しを行い、保育に反映させている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	④・b・c
良い点／工夫されている点：	
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所食物アレルギー児の給食対応マニュアル」に基づき、医師による「保育所におけるアレルギー性疾患生活管理指導表」の指示に従い、除去を行っている。 ・毎月、保護者、調理員、担任保育士、所長（または副所長）の四者で成分表によるアレルギー面談を実施し、翌月のアレルギー対応の確認をしている。 ・アレルギー児の食事は一人一人のトレーに配膳され、調理室、事務室、各クラスにおいて指差し確認を行い誤食がないようにしている。食事中は専用の机を使用し、保育士がそばについて見守っている。 ・毎日、調理室、事務室、各クラスにて食物アレルギー児給食記録表に食事の提供状況や様子等を記録している。 ・アレルギー疾患や熱性痙攣等の慢性疾患の既往歴のある子に対しては、発症時の状況や対応について保護者と確認し、緊急時に備え「緊急個別対応票」を作成している。 	
改善できる点／改善方法：	

IV-4 食事		第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		④・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・年間食育計画を作成し、栽培物の収穫や、クッキングなどを計画して食への興味関心が深まるようにしている。 ・保育士も一緒に食事をとり、楽しい雰囲気の中で食べられるようにしている。 ・4、5歳クラスはランチルームにて自由に席を選び、自分の食べたいタイミングで食べられるようにしている。 ・未満児は調理室と連携を取りながら、食材の切り方、大きさを調節し、発達に合わせて提供している。 ・毎週火、金曜日には給食を展示し、食材の産地情報や毎月の給食レシピを掲示している。 ・4つのお皿の食育ボードを使い、食に関する興味関心につなげている。 		
改善できる点／改善方法：		
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		④・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの喫食状況（量、好き嫌いなど）、発達、体調を把握し、一人一人に合わせて量を加減したり、調理形態に配慮している。 		

- ・行事の際には、行事に応じたメニューを提供したり、ランチデーやクッキングを行いながら楽しく食事ができるように工夫している。また、その様子を情報公開して保護者にも知らせている。
- ・献立は給食検討委員会で検討され、旬の食材や地域の産物を活かした料理が味わえるようにしている。
- ・調理員の協力を得てクッキングを実施している。和食の日にちなみ、年長児を対象に栄養士による「だしの話」を聞いたり、だしを味わう機会をもっている。
- ・給食マニュアルに基づいて食材の保管、温度管理等が適切に行われている。

改善できる点／改善方法：

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

		第三者評価結果
V-1-（1）	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ

良い点／工夫されている点：

- ・送迎時の会話、連絡帳、ドキュメンテーションを通して日々の子どもの様子を伝え合い、保護者とのコミュニケーションを図っている。
- ・保育参観では保護者が参加し子どもとのふれあいが楽しめる内容を工夫し、子どもの成長を感じられるようにしている。また、個別懇談（年長は年2回、年中・年少は年1回、未満児は希望者のみ年1回）やクラス懇談会（年1回）を行い、子どもの成長を喜び合ったり保育の方針について理解が得られるようにしている。
- ・毎月、保育所だより・クラスだよりをコドモンにて配信し、月のねらいや行事の予定を知らせている。また、週の予定やねらいを掲示したり、生活や遊び、行事の様子を掲示して情報提供を行っている。

改善できる点／改善方法：

V-2 保護者等の支援

		第三者評価結果
V-2-（1）	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ

良い点／工夫されている点：

- ・送迎時に子どもの様子を伝え合ってコミュニケーションを図り、信頼関係を築けるようにしている。
- ・保護者からの相談を随時受け付け、必要に応じて懇談を行っている。相談内容は記録をとり、必要に応じて専門機関と連携したり職員間で周知したりして適切な対応がとれるようにしている。
- ・園庭開放を実施し、地域の未就園児を持つ家庭からの相談ができるようにしている。

改善できる点／改善方法：

V-2-（2）	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ
---------	--	-------

良い点／工夫されている点：

- ・「児童虐待対応マニュアル」に基づいて、日頃から子どもの心身の状態や送迎時の様子を観察し、虐待の早期発見に努めている。内容について職員間で共有し、共通理解のもとで対応できるようにしている。また連絡のない欠席の場合は家庭に連絡を入れ様子を伺うようにしている。
- ・虐待が疑われる場合には速やかに報告し、子ども保育課、エールギム、岐阜県中央子ども相談センターなどと連携して対応できる体制が整っている。

改善できる点／改善方法：

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

		第三者評価結果
VI-1-（1） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		④・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 「岐阜市立保育所全体的な計画」と指導計画に基づいた保育記録の中で毎日の実践を振り返り、評価反省して改善に努めている。 園内公開保育を実施し、内容について話し合うことで保育の改善や専門性の向上につなげている。 自己評価研修を実施し、保育の振り返りを行い、次のよりよい実践へとつなげている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

VII-1 安全管理面でのサービス

		第三者評価結果
VII-1-（1） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。		④・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 「不審者対応マニュアル」「不審者対応訓練計画」に基づき、毎月1回、不審者対応訓練を実施している。 送迎時を除く10時～15時までは玄関を施錠し、外部からの侵入を防いでいる。 園内4か所に防犯カメラが設置されており、24時間体制で防犯対策をしている。さすまた、催涙スプレーを常備し緊急時に応できるようにしている。 年1回、県警たんぽぽ班による連れ去り防止教室に参加し、子どもたち自身の防犯意識が高まるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		

VII-2 保護者とのコミュニケーション

		第三者評価結果
VII-2-（1） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。		④・b・c
良い点／工夫されている点：		
<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに年間行事予定表を配布し、保護者が前もって予定を立て、保育参加しやすいようにしている。 毎月の保育所たよりで行事の詳細を知らせると共に、保護者の参加が必要な行事については別途、詳細な案内を配信（配布）して周知している。 保育参観やクラス懇談会の資料を作成し、参加できなかった保護者にも配布するなどの配慮をしている。 保育参観やオータムフェスティバル、生活発表会などの行事の際はアンケートを実施して保護者の意見を汲み取り、保育に活かしている。 		
改善できる点／改善方法：		
VII-2-（2） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。		④・b・c

良い点／工夫されている点：

- ・保護者会活動の際には場を提供し、必要に応じて所長が保護者会に参加している。
- ・保護者会との連携をとり、一緒に考えたりアドバイスできるようにしている。

改善できる点／改善方法：

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-（1） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c

良い点／工夫されている点：

- ・幼保小連携会議に参加して情報交換しながら連携を図っている。
- ・就学に向けて保育所児童保育要録を作成し、各小学校に送付し、就学前に各小学校と懇談している。
- ・年長児の保護者に就学前健診の日程を知らせ、全員が受診できるようにしている。
- ・年長児は小学校との交流会に参加している。地域の小学校の入学式、授業参観、運動会、卒業式、学校運営協議会などに職員が参加し、交流している。

改善できる点／改善方法：